



# 港南中便り

第5号

学校公式ホームページ <https://konan-j.esnet.ed.jp/>

## 港南中から広げる人権文化 ～思いを繋ぎ 差別解消へ踏み出す～

港南中では毎年、「差別のない、誰もの人権が大切にされる社会」の実現を目指して、本人の立候補による人権委員が活動しています。その活動が先月始まりました。そして、7月18日(土)は、昨年度まで人権委員として学び、活動してきた卒業生2名(現在高校1年生)が、港南中に来校し、「部落差別解消への歴史と今」と題しての学習会を開催してくれました。



### < 先輩2名による「部落差別解消への歴史と今」 >

#### 男子生徒

先輩お二人がパワーポイントで具体的な説明を加えながら教えてくださいましたお陰で大変よく分かりました。分かりやすい内容以上に、先輩方の「部落差別はあってはならないし、してはいけない。」という本気の意志を感じました。

今日の学習会までは、差別問題について詳しいことは分かっていませんでした。しかし、先輩方の本気の説明で、人権委員会の活動に取り組む気持ちが変わりました。これからの活動で僕は、正しい知識を身に付け、それを周りの人たちに広める活動に本気で取り組みます。

#### 女子生徒

先輩のお話を聞き、改めて部落差別をなくしていかなければならないと思いました。私は差別を体験したことはないし、周りの人が差別を受けているところも見たことがありません。しかし、私が気付いていないだけで実は身近にあるのかもしれませんが。差別をなくすためには、差別について気づき、正しい知識を持ち、それを周りの人に伝えていくことが大切です。

今日の学習会で、先輩方から教えていただいたことをしっかりと理解するとともに、差別をなくすという先輩方の思いを先輩に繋ぐ人権委員になります。

## 女子生徒

今日の学習会で「差別をなくすんだ！」という先輩お二人の熱い思いを感じました。先輩の姿を見て、私の思いは、まだまだ不十分だったと恥ずかしくなりました。今日1日でたくさんの知識を得ることができ、とても充実した気持ちになりました。人権委員に立候補して良かったとも思いました。私は正直、自分から積極的に部落差別について興味を高めたり、知識を得ようと行動したことはありませんでした。だからこそ、先輩お二人の一つ一つの言葉が胸に響きました。私は、まだまだ知識不足です。また、大勢の前で自分の意見を述べることができるわけでもありません。だから、まず身近な家族や親戚の人たちに今日学習したことを話してみたいです。

先輩の「差別をなくすんだ！」という思いをしっかりと受け継いでいきます。

## 男子生徒

去年、一緒に活動していた先輩の本気の発表を聞いて、卒業しても僕たちのために港南中に来て、学習会を開いてくださった姿に「差別をなくすため頑張ろう！」と思いました。

ケガレ意識は、平安時代に定められた「延喜式」が原型となり、庶民へ、地方へと広まったのだと知りました。そして、人によって作られ、残っている意識なら、誰かではなく自分たちが解消していかなければならないと思いました。差別は、される側ではなく、する側に責任があります。今後の活動を頑張っていこうと思いました。

先輩方のお話の中にもあったように、一人一人が積極的に正しい知識を理解していく努力をし、学んだことを周りのみんなに本気で広げていくことが大切だと納得しました。

生徒たちは、先輩二人に心を動かされ、先輩の思いを繋ぎ、差別解消へ本気で踏み出しました。今後の人権委員会の活動は、11月の港南人権フェスタ(予定)で発表があります。是非、御覧ください。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため様々な変更を余儀なくされ、生徒、保護者の皆様に大変御迷惑をお掛けしました。先が見通せないことに対するストレスがこれほどのものかと、改めて感じました。県内でも80名を超える方々が感染し、人事ではないと感じております。「新しい生活様式」での学校生活がスタートし、マスクの着用や手指消毒などは定着しています。静かな給食の時間も当たり前になりました。今後は、熱中症に対しても意識できるよう指導してまいりたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症に関連して、検査や治療などにご尽力されている医療従事者の方々や生活物資の輸送など社会機能の維持に貢献してくださっているの方々への差別的取扱いがあったとの報道がありました。あってはならないことですが、人々の不安と恐怖はこのような形で現れます。私たちが進めている人権教育は、身の回りにある全ての差別解消への取組です。感染症拡大に際して、この歩みを止めるわけにはならないと、改めて感じています。

先日、7月2日(木)、砥部町中央公民館において、第67回四国地区人権教育研究大会県内報告会が開催されました。本校の高城教諭が学校を代表して、昨年度の取組について堂々と発表しました。発表後の質疑応答では、多くの方々から賞賛の声をいただきました。また、私たちも一緒に考えていきたいといった力強い声も聞かれました。私たちの取組が、間違いなく会場の方々の心に届いたものと確信しました。

本年度も、50名を超える生徒が人権委員に名乗りをあげてくれました。多くの生徒がこれからの活動に対する熱い思いを語ってくれました。学習会においても、しっかりと学び、紙面のようなしっかりとした意見を述べてくれました。彼らは、必ずこれまで先輩が築いてきた伝統を立派に引継ぎ、港南中発の人権文化を更に輝くものにしてくれるはずです。御家庭におきましても、機会を捉えて人権についてお子様と語り合う場を設けていただきますようお願いいたします。夏休み中にも、人権委員の活動は継続いたします。どうか御協力をお願いします。

(校長 松浦 博文)